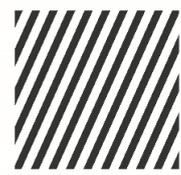


地域活動の活性化に向けたワークショップ

次なる
茨木へ。



庄栄地区ニューズレター

Vol.03 令和4年11月

庄栄地区では、「コロナでストップしたコミュニケーションを復活させよう！」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回のワークショップを実施しています。令和4年11月13日（日）に開催した第3回のワークショップでは、第2回目の「子育て・子育て」「地域の居場所づくり」「にぎわいづくり」「安全・安心」の4つのグループに分かれて出てきたアイデアの種を更に具体化し、実現に向けた話し合いを行いました。

アイデアを深めるための事例紹介

第3回目のワークショップでは、アイデアを実現させるためのプロジェクトシートを作成する前に、各テーマに沿った事例紹介を行い、アイデアづくりのヒントを得ました。

グループ	事例紹介の内容
各班共通	○活動をみんなに知ってもらおう工夫（気軽に情報を伝えられる場づくり） ・みんなの掲示板（神戸市） ・公式LINEで情報発信・情報共有
①子育て・子育て <今ある活動の継続>	○大人も子どもも一緒に楽しめるイベントの事例 ・準備や片付けも参加者と楽しむ工夫（茨木市 らくがき広場）
②地域の居場所 <いきいきサロン>	○活動に参加してもらいやすくする事例 ・オープンなテラス席でサロンの活動（明石市明舞ニュータウン）
③にぎわいづくり <ふるさと祭り>	○運営負担を減らす事例 ○大人も楽しめる企画 ・清掃をゴミ拾いイベントに（長野県「清走中」） ・バザーでお年寄り支援の資金づくり（いわき市）
④安全・安心 <防災>	○多世代参加の防災の取組み ・防災訓練とおもちゃの交換会を重ねて行う（神戸市「カエルキャラバン」） ・楽しい工作をきっかけに消火訓練にも参加（茨木市 三島校区） ・小学校と連携した防災教室（茨木市 三島校区） ・避難所運用マニュアルづくり

◆第3回実施概要

日時 2022.11.13（日）

18:00~20:00

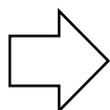
会場 庄栄コミュニティセンター

参加者数 23人

プログラム

- 1 第2回目の振り返り
- 2 事例紹介（他市・他地域）
- 3 グループワーク
アイデアを実現するためのワークシートをつくろう
- 4 グループ発表（全体共有）
- 5 閉会挨拶

○準備や片付けも参加者と楽しむ工夫 茨木市「らくがき広場」



好きなだけ落書きした後、片付けまで行うというのがイベントのプログラムになっています。準備や片付けまで参加者と楽しみながら運営側の負担を減らすことができます。

ワーク：アイデアを実現するためのワークシートをつくろう！

第2回目の意見交換で出てきた「**アイデアの種**」を更に具体化し、実現に向けて具体的内容をプロジェクトシートにまとめました。プロジェクトシートには、**実現するための課題**や**今すぐにでも取組めそうな具体的なアイデア**が出されました。

グループ	取組アイデア
①子育て・子育て <今ある活動の継続>	○子どもと大人が一緒に楽しめるイベントづくり <ul style="list-style-type: none"> ・バザーのようなお譲り会でおもちゃを持ち寄る ・多世代で参加できるカルタや紙芝居の昔あそび ・昔の活動（こどもみこし、地藏盆）を今にあったものにアレンジして復活 ・情報発信のための取組み（小学校との連携、SNSの立ち上げ）
②地域の居場所 <いきいきサロン>	○誰でも憩える居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・子育ての活動との連携（放課後子ども教室、子ども食堂等） ・いきいきサロンと「子育て広場」を一緒にしてみる ・子どもも大人も集まれる場所のイベント化で間口を広げる ・広報・みんなの掲示板みたいな取組をしてみたい
③にぎわいづくり <ふるさと祭り>	○ふるさとまつりを再び復活させる <ul style="list-style-type: none"> ・まずは小さく始める（ちょうちん、食べ物の販売はストップ、地域外の人への参加は行わない等） ・実行委員会の体制を見直す（会則の作成等） ・公民館を巻き込んで行う、暑い夏場は避けて実施 ・若い力を持ってくる（市内大学と連携、資金調整も必要、PTAとも一緒に取組む）
④安全・安心 <防災>	○防災まちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災まちづくりに向けた避難所の運営、情報の伝達、啓発活動 →災害掲示板の設置 ・防災の取組を進める体制づくり、大学との連携 ・まずは、最初に取り組をしている人での報告会 ・ユニホーム作り、少人数のスモールスタートからでもはじめよう



これで全3回のワークショップが終了しました。全3回のワークショップを通して、コロナ禍でストップしているイベントの復活、地域のコミュニケーションの場などが広がっていくことを期待しています。